

津山うどん&
地場企業で
地方創生



緑風会
西野修平

地方創生

問 津山うどんのブランド化で小麦の生産と消費を拡大し、地方創生をしては。また、津山うどん研究会の立ち上げは。

答 学校給食に津山産小麦のうどんを使って消費拡大を行う予定。津山うどん研究会はJA、製麺業者や関係者とともに7月立ち上げに向け協議中。



津山産小麦「津山のほほえみ」

産業

問 城東地区にある津山の優良企業の工場を関連企業が立地している所へ移転し、発展させる手立てはあるか。また、跡地2,700㎡の活用方法は考えられたか。

答 指摘のあった企業は津山の優良企業であり、今年4月に立ち上げた「つやま産業支援センター」で相談し、支援を考えた。にぎわい創出のためには、民間活力の導入も重要な視点。跡地については今後の展開を注視しながら検討してみたい。

子育て支援策の
拡大・充実に
ついて



日本共産党
津山市議団
美見みち子

子ども医療費

問 子ども医療費無料化を中学校卒業まで、通院までに、拡大できないか。

答 他の子育て支援策や財政状況等を勘案しながら、総合的に検討する中で判断していく。

問 県の制度拡大や国の就学前までの無料化制度をつくるよう要望してほしいが、どうか。

答 先般、全国市長会において「子ども医療費の無償化については国の責任において実施すべき」と国に対する緊急提言をまとめた。引き続き、県や国に対する要望も続ける。



就学援助

問 生活保護基準のたび重なる改正で就学援助から外れる世帯は出ていないか。

答 本市では、生活保護基準の引き下げ以前の基準で据え置いており影響はない。

津山市の地方創生



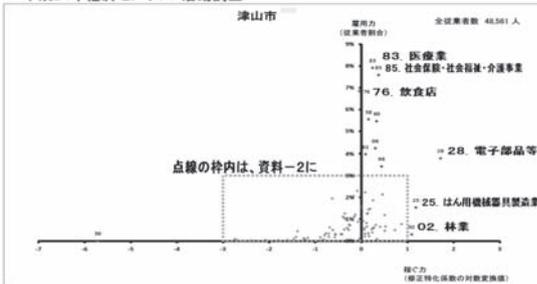
安東伸昭

地方創生

問 経済センサスのチャートから、津山の強みは。

答 林業及び木材加工業は本市の基幹産業と位置付けることができ（競争力の強さ）、この分野の従業者数を増せば、一層競争力に磨きがかかる。

平成24年経済センサス-活動調査



医療・福祉・介護分野で雇用吸収率が高く、津山市が拠点都市としての役割を果たしている。

問 県の公表した人口推計の受け止め方と、圏域版総合戦略の策定について。

答 本市は県北地域の拠点都市として、出産や子育てがしやすい環境整備や、仕事づくりに力を入れ、人口移動の面において、県北におけるダム機能としての役割を果たさなければならぬと考えている。岡山大学大学院中村良平教授も含めた幅広い意見を賜り、圏域版総合戦略の策定に取り組む。